



梅雨が明けると… スイカのおいしい夏ですネ!!

人生 情熱の夏の人がいれば 春のスタートにイキイキしている人も
秋で収穫の人も じっくりまとめて冬の人もあります。

いつの時代も、工夫や発明、発見があると楽しく元気に
過ごせるように思います。

会員の皆さまと一緒に、さまざまな情報交換をしながら
歩いていけたら嬉しいです。

皆さまのおかげでニュースレターが完成～。読んでくださいね。

NEWS・1

6月1日(日) 動物医療発明研究会・第23回総会が開催されました。
臨床の先生を含めて23名が参加され、皆さんで和気あいあい・なごやかな雰囲気にて無事終了。

①会長挨拶

犬・猫共に飼育率が、3年連続で減少傾向になっている。犬の飼育率は、10%、猫の飼育率は、15.8%である。7歳以上の犬は、全年齢の52.1%を占め、7歳以上の猫は、全年齢の46.1%を占めている。現状のままだと、2020年頃には、7歳以上の犬・猫が少なくなるため、今後の動物病院にも影響が出てくるものと思われる。これからは、犬・猫の飼育率をアップするような対策も必要となってくる。そのためには、ペットを飼うメリット(ペットを飼うことにより、癒され人間の病気が減る等)を普及させることも重要である。

②全員 ミニ自己紹介

③会計：2013年決算報告および2014年予算案の説明がなされ承認されました(別紙参照)。

④活動報告：ニュースレター3回発行/2013年6月・ミニセミナー(小暮規夫、佐藤剛、小宮山典寛)/2014年2月・内科学アカデミー教育講演(中山正成、清水邦一、清水宏子)/2014年3月・日本女性獣医師会と協賛セミナー(清水邦一・清水宏子)

⑤活動予定：ニュースレター、2014年2月・内科学アカデミー(3コマ)/総会

⑥表彰：長期に当研究会に尽力された中畑雅紀先生に感謝状をお送りいたしました。

動物医療発明研究会・第23回総会にご出席いただいた皆さま

【臨床(開業関係)】

小暮 規夫先生 小暮動物病院(東京)
中畑 雅紀先生 中畑動物病院(小樽)
毒島 美登里先生 かなやま動物病院(群馬)
木村 太郎先生 木村動物病院(東京)
橋本 昌大先生 高草山どうぶつ病院(静岡)
菅又 恒子先生 エルザ動物・小島の病院(東京)
比留間 俊美先生 エルザ動物・小島の病院(東京)
富田 博人先生 富田獣医科病院(大阪)
小宮山 典寛先生 三鷹獣医科グループ(東京)
清水 邦一先生 清水動物病院(横浜)
清水 宏子先生 清水動物病院(横浜)

亀山 絵璃花さま うつのみやペットクリニック(宇都宮)
石澤 佳菜絵さま うつのみやペットクリニック(宇都宮)
松澤 悦子先生(川越)

【企業】

林 裕之さま 林刃物(岐阜)
鍵和田 哲史先生 バイエル(東京)
大西 暁さま 浅井フーズ(東京)
工藤 美保先生 P&V(東京)
松本 紗也加さま HAB(大阪)
伊藤 隆先生 第一三共(東京)
宇賀神 正敏さま 三幸製作所(埼玉)

【学校関係】

川鍋 美紀子先生 シモゾノ学園(東京)

【出版社】

太田 宗雪さま インターズ(東京)

SAMI 第23回 総会

開催日時：

平成 26 年 6 月 1 日

日曜日

午後 2 ～ 5 時



お役立ちセミナーの内容

院内の小さなアイデア

小暮 規夫先生



1 フック（洋灯吊り）を金床とハンマーでつぶしワイヤーカッターで切ることで、雑誌を包装しているビニール袋を差し込んでため、再利用するアイデアが紹介されました。実際、改良フックをお土産として

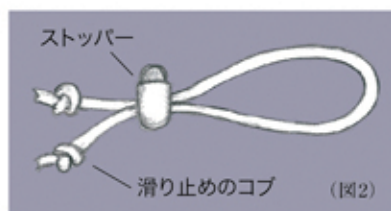
作成されて、参加の先生全員に配布されました。（図1）

2 ビニール袋は、肛門腫を絞ったりする時に、カバーとして使用すると便利です。また、トイレシートを捨てる時に、小さく丸めて袋に入れてテープで留めると、臭いを防ぎゴミを少なくするのにも役立ちます。

3 採血時の駆血帯として、手芸用品のゴムひもとストッパーを利用する方法が紹介されました。（図2）



(図1)



(図2)

(皆さんからの感想)

●郵便物の入っているビニール袋、いつも何かに使えそうだなと思いながらプラスチックゴミに捨てていました。今日からは、きっちり保存して犬の散歩やネコのシート交換に使います。

●生活用品の活用アイデア（フック）とっても素晴らしいものです。こうした小さな工夫の情報の共有化についてホームページを介して掲載できたらいいですね。

●今までのお話のあったアイデアを色々ご紹介頂くニュースレターとかがあると後から入会した人には、助かります（バックナンバーを見られるという事です）のでそれに入っていると助かりますね。

●今までの駆血帯はゴムをただ挟むタイプで、大きいワンちゃんでは挟む部分が弱くて外れてしまい、何か良いものがないかと考えておりました。小暮先生のアイデア品はお手軽にしっかり駆血ができるものなので、早速みんなで使ってみようと思います。

●小さなアイデアは、大きな合理的を得ることがわかりました。洋灯吊り、すぐ使わせていただきます。ビニールでの汚物を包み捨てる方法は衛生面でも大変なメリットですね。すぐ実行いたします。

●臭腺（肛門腺）しぼりは、看護師が大量にティッシュペーパーを使うもので、心中無駄だと思っていただけに明日、話してみます。

リタイアへの新しい道

中畑 雅紀先生



中畑先生からは、ご自身の東京の動物病院の譲渡に関する実例をあげ、以下の項目に沿って説明されました。

・開業獣医師の引退理由・引退後の病院・第三者事業継承者紹介・事業譲渡契約書・定期建物賃借契約書・動物病院第三者事業譲渡支援コンサルタントに関する契約書・第三者事業譲渡のメリットなどのお話でした。

1 動物病院の譲渡や賃貸は、地域のために病院が残

り、無駄がなく、双方に利点がある。

2 第三者事業者を経由することで、リスクやトラブルが少ない。

動物医療発明研究会
リタイアへの新しい道
(パトナッチのアイデア)

中畑 雅紀

開業獣医師の引退理由

- ・高齢のため引退
- ・病気による引退
- ・業務からの引退
- ・家庭の事情による遠隔地への転居
- ・その他

引退後の病院

- | | |
|-----------|------------|
| 後継者がいる場合 | 譲渡・継承 |
| 後継者がいない場合 | 閉院 |
| | 貸店舗・売却 |
| | 第三者への継承・譲渡 |

第三者事業継承者紹介

1. 獣医師協同組合
2. 医療事務会社
3. 獣医療器具会社
4. 医療コンサルタント会社
5. 不動産会社
6. 建築会社
7. その他

第三者事業譲渡のメリット

- A. 譲渡者
事業譲渡金による収入
家賃収入による経済的な安定
時間と体力にゆとり
患者さんへの対応
- B. 譲受者
開業資金負担の減少
開業場所の選択
当初からのカルテの存在（固定客の存在）

- ・過当競争を防ぐ
 - ・過剰投資の抑制
 - ・リタイア後のゆとり
 - ・リタイア後の再スタート
- 第三者継承事業は、新しい選択肢でなく新しい選択肢を生んだ素晴らしい事業だと思います。

(皆さんからの感想)

●まだ、当院も開業して間もないのであまり考えたことのない話題でしたが、将来少なからず直面することだと考えました。

中畑先生は、スムーズな引き継ぎができたとのことですが、他に獣医師の居ない病院ではかなり悩まれる話題かと存じます。将来のために今から考えて行こうかと院長にも伝えたいと思います。

●なんとなく知っていても具体的な話を聞いて良くわかりました。売上から譲渡の金額がわかる表は参考になりました。自分の病院がなくなってしまうより社会、地域のために残っていくことは嬉しく思います。

●実体験からくる具体的な情報で、多くの先生方の興味のある所だと思いました。先生方へのお話に役立ちました。必ず皆さまの直面する問題なので多くの先生に知っていただくといいと思いました。

●事業継承の問題、獣医師の世界でも大変だと思いました。特に将来の犬・猫の減少化、開業医の増加問題もあり、問題解決に取り組むビジネスも増えそうですね。

採血時の工夫について

清水 邦一 先生



清水邦一先生からは、採血時の工夫について説明がありました。

1 1mL程度の採血であれば、小型犬も大型犬も、26G×1/2 (ショートペーベル、テルモ) を用い0.15mL程度の空気を入れてから採血する。シリンジは、ヘパリンを入れておき乾燥させておく。26Gのメリットは、①痛みが少ない。②血管内に入りやすい。③貫通しにくい。④出血しにくいなどがあります。デメリットがありそうですが、①採血の時間にあまり差がない。②引き過ぎなければ溶血もしない。③手間取らなければ、針の中で血液は凝固しない。

シリンジは、ヘパリンを入れておき乾燥させておく。26Gのメリットは、①痛みが少ない。②血管内に入りやすい。③貫通しにくい。④出血しにくいなどがあります。デメリットがありそうですが、①採血の時間にあまり差がない。②引き過ぎなければ溶血もしない。③手間取らなければ、針の中で血液は凝固しない。



組織の取れ方



2 シリンジで吸引しない細胞診 (FNB)。細い針 (25G、26G、27G) がお勧め。

(その他の感想)

● かしこまった会ですとかなり緊張してしまいましたが、温かい雰囲気、初めの緊張もやわらぎました。曜日・時間帯はありがたかったです。また、参加する機会があれば邪魔させていただきたいです。

● 清水先生の採血のアイデアも参考になりました。

● 小宮山先生の米国の動物病院の経営動向について説明していただきたいです。日本が今後直面する問題を先進国である米国ではどのように対応しているかを知りたいです。

● 今日、参加させていただき本当に有り難うございました。年に1回はもったいない会だと思いました。

アイデアを活かそう!

no.1



中山 正成先生

2014年2月にパシフィコ横浜で行われた日本内科学アカデミーの教育講演で中山正成先生が発表されたアイデアの数々を来れなかった方のために毎回、少しずつ「SAMIニュース」でご紹介して行きます。

X線撮影時にカセットやマーカーがずれない工夫



X線撮影台に1mm厚の透明ビニールを敷いて一端を貼付ける。撮影時カセットやマーカーを透明ビニールの下に置く。動物が暴れてもカセットやマーカーは動かない。また糞尿が漏れてもカセットは汚れない。



腹腔内洗浄時に吸引しやすくする方法



ステンレス製調理具 (みそこし、小) 吸引管に大網などが詰まらなくて吸引作業がすばやく出来る。



ニャンコのつぶやき

ご主人様より
大きないびき
自分でびっくり
目が覚めた
周りはまっ暗
またいびき

ワンコのつぶやき

僕、人の言葉は
わからないけど
いたいのいたいの
飛んでけうって
云われても
やっぱりいたいの

佐藤大樹病院 (三郷市) 佐藤 剛作

【新入会員・自己紹介】



浅井 洋子 先生

うつのみやペットクリニック
(栃木県宇都宮市)
栃木県生まれ 鹿児島育ち
酪農大学 卒業



浅井先生が大好きな鳥がモチーフのロゴマーク

☆病院の紹介

地方で地元で愛される

キラリと光る小さな
病院を目指します。

☆ポリシー

心に寄り添う動物医療を
目指します。

☆過去の発明・発見・
アイデア自慢

アンプルの入っている厚紙を捨てずに、
塗抹のカバーガラス乾燥用のつい立てにしています。

「明るく、清潔感のある場所」というコンセプト
飼い主の方と動物が、季節毎に咲く花を
眺めながら過ごすことができます



☆そのきっかけ、生まれた理由

場所を取らずに斜めに置ける。

☆皆さんに役立つ失敗談

ブルーの染色液を床にこぼして色が付いてしまったことがあり
その次のワックス塗布の際にはエタノール、メタノールに強い
製剤を塗ってもらいました。その様なワックスがあると後で気
が付きまして。

☆これからやりたいこと目標(仕事でも趣味でも)

将来は、トラベルボランティアをしながら盲導犬の訓練の健康
管理に携わりたいです。

☆今、夢中になっていること、取り組んでいること

年に2回、春と秋にうさぎのオブジェがある美術館の原っぱで
「おさんぽ会」をしています。お友達(飼主さん)同志の輪が
できると嬉しいです。

☆発明研究会の皆さんに伝えたいこと

「発明」ということを日常で意識することによって、小さなこと
でもTOYOTAの「カイゼン」みたいで格好いい!と思いました。



写真左: コンクリートの打ちっばなしで暗かった内装を白ベースに明るくした受付
写真右: 猫やウサギの可愛いシルエットがデザインされている待合室の窓



前半で
道草
後半で
より道
そんな人生



清水宏子の五行歌

新入会員

菅又 恒子(エルザ動物・小鳥の病院) / 松本 紗也加(K.K.ヒューマン・アニマル・ボンド)

動物医療発明研究会のホームページできています。登録もできます。
会員の病院・施設名、郵便番号、住所、TEL、FAX、ホームページ
URLを掲載します。ご希望の場合は、件名に「SAMI-HP掲載希望」
と明記して、データをメールにて下記ホームページへお送りください。
hp@ispecial.co.jp (運営受託: 株式会社アイ・スペシャル)



事務局ではお役立ちのアイデアやエピソードを
随時募集しています。メール、FAX、郵便でも
受け付けていますので、お気軽にお寄せください。

お詫び

前回発行しました「SAMI NEWS 36号」に間違いがございました。
表紙(小暮規夫先生の本文中)
1行目/誤: 三学会(産業動物) = 正: 三学会(産業動物)
7行目/誤: 藤原 茂社長 = 正: 藤平 茂社長
ここに謹んでお詫びいたします。 編集スタッフ一同

SAMI NEWS 37号 発行日: 2014年7月7日

発行所: 動物医療発明研究会事務局

発行人: 会長 清水 邦一 / 編集人 伊藤 隆

事務局: 230-0061 横浜市鶴見区佃野町3-3 清水動物病院内

メール: sah@vet.ne.jp

FAX: 045-583-3594 (電話: 045-583-3738)